

日時 2015年1月17日(土) 14:00-17:30

場所 神戸ポートピアホテル  
神戸市中央区港島中町6-10-1

定員 200名〔先着順〕 日英同時通訳

- Date/Time | January 17th (Saturday), 2015, 14:00-17:30
- Venue | Portopia Hotel (Minatogima Nakamachi, Chuo-ku, Kobe)
- Capacity | 200 persons
- Language | Japanese and English (simultaneous interpretation)



参加費  
無料



**マルガレータ・ワルストロム**  
 国連事務総長特別代表(防災担当)兼UNISDRヘッド  
 Margareta Wahlström, UN Secretary-General's Special Representative for Disaster Risk Reduction and Head of UNISDR



**田中 明彦**  
 国際協力機構(JICA)理事長  
 Akihiko Tanaka, President, Japan International Cooperation Agency (JICA)



**河田 恵昭**  
 人と防災未来センター長  
 Yoshiaki Kawata, Executive Director, Disaster Reduction and Human Renovation Institution

主催：国際防災・人道支援フォーラム実行委員会  
 共催：ひょうご安全の日推進県民会議  
 後援：朝日新聞社、神戸新聞社

阪神・淡路大震災20年事業  
 超巨大災害対策総合シンポジウム

The Great Hanshin-Awaji Earthquake 20th Anniversary Event Symposium on Catastrophic Disasters

# 国際防災・人道支援 フォーラム2015

International Disaster Reduction Forum  
 (DRA Forum 2015)

テーマ

兵庫行動枠組 (HFA)10年の成果と2015年以降の防災枠組に向けて  
 ～レジリエントな社会を目指す取り組みの軌跡と展望～

10-year Achievement of the Hyogo Framework for Action and its Successor Framework  
 - Global Progress and Prospect towards Disaster Resilient Society -

- 14:00-14:10 ▶ 開会あいさつ
- 14:10-14:40 ▶ 特別講演：「兵庫行動枠組の実施進捗とその後継枠組：第3回国連防災世界会議に向けて」  
 マルガレータ・ワルストロム 国連事務総長特別代表(防災担当)兼UNISDRヘッド
- 14:40-15:40 ▶ 報告：DRA構成機関による兵庫行動枠組の推進  
 ○WHO神戸センター ○アジア防災センター  
 ○ひょうご震災記念21世紀研究機構 兵庫県こころのケアセンター  
 ○国際防災復興協力機構 (IRP) ほか
- 15:40-16:00 ▶ 休憩
- 16:00-17:15 ▶ 鼎談：「レジリエントな社会を目指して」  
 マルガレータ・ワルストロム 国連事務総長特別代表(防災担当)兼UNISDRヘッド  
 田中 明彦 国際協力機構(JICA)理事長  
 河田 恵昭 人と防災未来センター長
- 17:15-17:30 ▶ 総括・閉会：五右衛門 真 ひょうご震災記念21世紀研究機構理事長

申込み方法  
 参加費無料

人と防災未来センターのホームページ (<http://www.dri.ne.jp/>) より、申込みフォームをご利用ください。〔先着順〕  
 FAXをご利用の方は、①氏名、②所属団体(職種)、③電話番号、④FAX番号を記載の上、下記まで送信ください。  
 Please visit the DRIWeb(<http://www.dri.ne.jp/>) for the application.

問合せ先  
 申込み先

超巨大災害対策総合シンポジウム運営会議事務局  
 (人と防災未来センター事業課)

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通 1-5-2  
 tel : 078-262-5068 fax : 078-262-5082

